

育ママ支援を③私立幼稚園保護者負担軽減の所得制限撤廃を。

答 ①公立保育園には保育水準の担保、子育て拠点の役割、各保育園間の連携等の中心的な軸となる②狛江保育園及び認証保育園で実施。公立は職員団体と交渉中③財政状況を踏まえ予算編成の中で協議する。

学びを支える環境づくり御台橋通りの安全確保と特別支援教育
問 ①通学路の安全確保への取り組みは。②緑野小通学路で危険な御台橋通りの安全確保を。③支援が必要な子供に對しすべての当事者でつくり上げる「個別の教育支援計画」、作成率と活用方法は。
答 ①学校とPTAからの要望を集約し安全確保に努力。②八幡通りの外側線内をグリーン舗装。今年度両側50メートル程度。③小学校84%、中学校61%、乳幼児期から学校卒業までの一貫した支援に活用。

こまバスはこまつたバスか現状とお客様の声、今後の対策は
問 ①こまバスの平成21年度実績は②お客様の声は③担当者間の定期的な意見交換を④批判的な意見が寄せられているが今後の対応は⑤今後開催される市民委員会では現状検証のみならずゼロベースの議論を。
答 ①5月までの乗降客数は1便当たり14・7人②質問59件、苦情等43件③定期的な話し合いの機会がなかった。今後場を設け④市民委員会を設置⑤委員会は、現在のこまバスの運行内容の検証が目的。

西村 あつ子

障がい者施策の拡充について

問 ①4月から福祉作業所の運営が変わったが、状況と課題は。②点在する作業所を今後どう考えているのか。③施設職員の研修参加は。④庁内からの委託をふやす努力。⑤利用料の減免を。
答 ①社会福祉法人に移行され、経営努力が求められる。②公共施設再編計画で一つの施設で要望。③研修内容や対象者等を確認し調整。④委託可能か検討。⑤減免範囲が拡大されるので、今後の推移を見きわめる。

ヒブワクチンへの助成を

問 ①ヒブワクチンの助成を。②保育園のオートロックは。③認証保育所の⑦学校110番の設置を④巡回指導の取り組み状況は。⑤公私立保育園の合同会議と、市の研修への認証保育所等の参加について。
答 ①健康事業の中で優先順位や財政状況を考えながら研究。②21年度三島、駄倉、和泉、22年度駒井、藤塚、宮前を予定。③⑦5箇所予定④3回市の研修に参加を呼びかける。

藤田 鋭

景観法とまちづくり、景観行政の展開を

問 景観法が施行され、全国でそれぞれの特色に応じた景観行政が展開されている。狛江でもこれまでのまちづくりを踏まえ、景観条例の策定を初め、狛江らしい景観行政を展開すべきと考えるがどうか。
答 景観条例を制定した場合、何らかの行為規制をかけることが予想される。市のまちづくり条例との整合性、景観法や東京都景観計画の調整も必要。

問 景観法が施行され、全国でそれぞれの特色に応じた景観行政が展開されている。狛江でもこれまでのまちづくりを踏まえ、景観条例の策定を初め、狛江らしい景観行政を展開すべきと考えるがどうか。

消費者庁発足と消費者相談行政
問 消費者庁が発足されるが、市町村には消費生活相談センターの設置が努力義務となる。狛江での消費者相談行政はどのようにするのか、現状及び今後の課題をどのように考えているのか。
答 消費者相談業務は既に「消費者相談ダイヤル」の運用開始にあわせ、システムの整備を予定。

田中 智子
新型インフルエンザ対策に万全を
問 今後とも新型インフルエンザの対応が必要。①今までの対応と今後の方針②市が設置する発熱外来の設置時期③必要な医薬品は手に入るのか④医療備蓄は大丈夫か⑤保育園等の臨時休業時の対応は。
答 ①対策本部を設置し対応を協議、確認をしている。

問 ②保健所の要請により設置③都より優先的に有償配付される④防護服等の一定量を確保している⑤発生保育園は休園、学童は当該学区で発生の場合休所。

30人学級などの少人数学級を狛江でも
問 市の算数などの少人数授業も効果が上がっているが、小学校1年生で40人のクラスもある。①少人数学級が必要と思うが市の認識は。②小学1・2年生からの35人学級の具体的な検討を。③都に強く要請を。
答 ①小学校入門期にはある程度少ないことは有効と認識。②40人学級という学級編成基準の中で加配教員や講師等の配置を工夫する。③切実かつ重要な課題と認識。今後も努力を重ねたい。

田辺 良彦
「市民が主人公」の市政運営について
問 「市民が主人公」の市政運営の基本的な考え方に、狛江市の「参加と協働」は成長過程にあるが、「参加と協働」は何か必要なのか、何のために必要なのか。
答 情報公開を前提とした参加と協働があつて初めて間接民主主義の欠点や弱点を補完できる。市民が主人公の政治が発展することにより、住民自治の方向に進んでいくものと考えている。

東野川郵便局前と一中通りの交通安全

問 ①東野川郵便局前について、隅切りや道路の拡幅などの交通安全対策を講じられたい。②一中通り、第一中学校前に押しボタン式の信号機を設置されたい。
答 ①信号機などが設置できない状況であり、他によい方法がないか警察と協議する。②PTA等の要望もあり、警察に要請したので、その結果を待つて対応したい。



狛江市としての景気対策

問 ①国の交付金を活用して、好評だったプレミアムつき商品券を再度発行するべきである。②高齢者世帯などの家具転倒防止器具取り付け助成について、市内事業者の仕事に結びつけてほしい。
答 ①地域経済にどのような効果が出たかを見きわめて検討。②平成22年度以降の積極的活用策を検討している。

鈴木 えつお

特別支援教育の充実を

問 特別支援学級では、その子に合ったプリントが用意されるなど手厚い教育支援が行われている。南部地域への固定の特別支援学級の開設は、住民の長年の要望となっているが、実現の見通しはどうか。
答 児童数の見込み等調査をしてきたが、現在のところ固定学級、通級学級のいずれも学級編成基準や継続的に維持できる状況には至っていない。今後も開設準備の調査は継続していく。

地球温暖化防止対策の促進を
問 政府が発表した中期目標は、国連IPCCが提起した目標を大幅に下回っており見直すべき。市として太陽光発電システム設置への助成や、学校など公共施設への太陽光発電システム導入を促進すべき。
答 補助制度に終期があるようであれば、時期を逃さない対応が必要と考える。また、庁内関連部署と調整し、共通認識を持って検討していく。

宮坂 良子
老後が安心してできる介護保険に。特養ホーム増設は切実、一日も早く

問 国や都の社会保障削減で無届け老人施設がふえてくる。①身寄りのない高齢者の対応。②特養ホーム増設要望に当たりベッド数と待機者数は。③新認定は軽度判定でサービス低下を招く。国に見直し要望を。
答 ①個々の状況で入院や介護保険居宅サービスを利用した在宅生活、施設入所など。②ベッド確保は204床、待機者は4月現在で211人。③機会をとりえて要望していく。

高齢者、障がい者が安心して買い物ができる、暮らせるまちに
問 慈恵東通りに歩道ができる安全になる。①計画の進捗は②住民からOKストア存続の要望が上がっているがどうなるか③商店街のアーケードの補償は④狛江団地のエレベーター設置は切実。ぜひ都へ要請を。
答 ①今年度OKストアの用地取得、23年度は商店街の同位置での存続は考えてなく、近辺に移転したいと考えている模様③移設する費用が補償される④都と協議していく考え。

市民生活支援策の拡充について
問 厚労省の外郭団体が行っている年金担保の貸し付けを受けられた方は、生活保護の受け手が命を落とすことのない給が制限される。貸し付けを受けた方が命を落とすことのない
詳しい内容は会議録をご覧ください